

2026年3月期決算について

株式会社AIRDOは、5月29日(金)、2026年3月期決算をとりまとめました。

1. 2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績

(1) 概況・経営成績

旅客数が堅調に推移する中、予測に基づく機動的な運賃設定や座席管理の徹底、および高需要期における増便設定等の販売施策が奏功し、営業収入は前年同期を上回る53,471百万円(前期比0.4%増)となり、過去最高を更新しました。

一方、利益面においては、円安や原油価格高騰に伴い航空機整備費等の諸コストが増加した結果、営業利益は2,001百万円(同39.4%減)となりました。

【経営成績】

(増減率、営業利益率を除き、単位未満は切り捨て)

項目	2026年3月期	2025年3月期	増減	増減率(%)
営業収入 (百万円)	53,471	53,270	+201	+0.4
営業費用 (百万円)	51,470	49,966	+1,503	+3.0
営業利益 (百万円)	2,001	3,303	△1,302	△39.4
営業利益率 (%)	3.7	6.2	△2.5pt	—
経常利益 (百万円)	1,796	3,167	△1,370	△43.3
当期純利益 (百万円)	1,203	2,416	△1,212	△50.2

<Topics>

- ・マーケット動向の綿密な分析に基づき、競争力のある運賃設定と適切な座席管理を継続しました。高需要期を中心に既存路線の増便、その他の期間においては全路線を対象とした「DOセール」等の実施により、収益の最大化に努め、年間を通じて高い利用率を維持することができました。また、北海道日本ハムファイターズとの機内コラボレーションや、人気アニメ『ゴールデンカムイ』とのタイアップを展開し、幅広いファン層の獲得に注力しました。
- ・2025年8月には公式オンラインショップに、新カテゴリ「AIRDO セレクション」を新設し、北海道の魅力的な定番商品をラインナップに加えることで、EC事業のさらなる活性化を図りました。
- ・その他、産地直送サービス「道産空輸 AIRDO ダイレクト便」の拡充、2026年1月には新千歳空港発として初の「初日の出フライト」や、「函館-鹿児島線」のチャーター便を運航し、地域経済の発展と観光における新規市場の創出に寄与しました。

(2) 運航実績・輸送実績

【運航実績】

項目	2026年3月期	2025年3月期	増減	増減率(%)
運航便数 (便)	23,036	23,550	△514	△2.2
就航率 (%)	98.0	98.7	△0.7pt	—
定時出発率 (%)	80.5	83.9	△3.4pt	—

<Topics>

- ・前年同期比で増便設定数が減少したことに加え、2025年11月に発生したB767の被雷による修復作業のため約2か月間の欠航が生じたことで運航便数が減少しました。

【輸送実績】

(増減率、旅客数、利用率を除き、単位未満は切り捨て)

項目	2026年3月期	2025年3月期	増減	増減率(%)
提供座席数 (千席)	3,060	3,069	△8	△0.3
旅客数 (人)	2,610,151	2,540,945	+69,206	+2.7
座席キロ (千席・キロ)	2,912,005	2,915,932	△3,927	△0.1
旅客キロ (千人・キロ)	2,483,921	2,413,262	+70,659	+2.9
利用率 (%)	85.3	82.8	+2.5pt	—

(注) 輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

<Topics>

- ・利用率は前年同期比2.5pt増で過去最高となりました。

【路線別利用率】

(%)

路線	2026年3月期	2025年3月期	備考
「札幌－東京」線	86.1	82.5	
「旭川－東京」線	81.8	80.7	
「女満別－東京」線	85.6	84.1	
「釧路－東京」線	85.0	84.9	
「帯広－東京」線	83.8	83.2	
「函館－東京」線	88.4	89.0	
「札幌－仙台」線	77.4	75.9	
「札幌－名古屋」線	88.4	86.2	
「札幌－神戸」線	88.7	81.1	
「札幌－福岡」線	85.7	82.3	
「函館－名古屋」線	84.1	84.5	
全路線合計	85.3	82.8	

(注) 路線別利用率には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

<Topics>

- ・路線別では、堅調なレジャー需要の取り込みにより、とりわけ「札幌－東京線」、7月から8月にかけて期間増便を実施した「札幌－福岡線」、万博開催の追い風を受けた「札幌－神戸線」が前年を大きく上回り、全路線合計においても過去最高の利用率となりました。

(3) 財政状態

【財政状態】

(1 株当たり純資産額、自己資本比率を除き、単位未満は切り捨て)

項目	2026年3月期末	2025年3月期末	増減
総資産 (百万円)	44,206	42,620	+1,586
純資産 (百万円)	15,021	11,967	+3,054
1株当たり純資産額 (円)	244,770.53	179,094.75	+65,675.78
自己資本比率 (%)	34.0	28.1	+5.9pt

2. 2027年3月期の見通し

営業収入は、旅客数の増加と単価向上により過去最高を予測しております。

中東情勢の影響は、下期には正常化へ向かうと想定しておりますが、原油市況の上昇等により費用の増加を見込んでおります。

現時点における2027年3月期の業績の見通しは以下の通りとなります。

(営業利益率を除き、単位未満は切り捨て)

項目	予想	前期実績 (2026年3月期)	増減
営業収入 (百万円)	55,500	53,471	+2,029
営業利益 (百万円)	900	2,001	△1,101
営業利益率 (%)	1.6	3.7	△2.1pt
経常利益 (百万円)	600	1,796	△1,196

以上

※ 共同持株会社株式会社リージョナルプラスウイングスの2026年3月期連結決算については、下記のプレスリリースをご参照ください。

株式会社リージョナルプラスウイングス: <https://www.regionalplus.co.jp/newsrelease/>

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	2025年3月期	2026年3月期		2025年3月期	2026年3月期
流動資産	17,051	25,967	流動負債	16,494	12,681
現金及び預金	12,338	18,742	営業未払金	5,090	4,221
営業未収入金	1,416	1,407	短期借入金	1,200	—
貯蔵品	114	96	1年以内償還予定社債	200	200
前払費用	829	862	1年以内返済予定長期借入金	2,373	2,373
デリバティブ債権	—	3,039	リース債務	2,040	2,019
その他	2,351	1,818	未払金	4,211	178
			未払費用	953	876
			未払法人税等	8	13
			預り金	62	1,748
			その他	354	1,048
固定資産	25,569	18,239	固定負債	14,158	16,504
有形固定資産	18,839	12,565	社債	800	600
建物	399	354	長期借入金	5,288	10,915
航空機	2,466	1,891	リース債務	5,010	2,991
工具器具備品	10,454	6,719	退職給付引当金	1,237	1,308
リース資産	5,509	3,597	航空機材整備引当金	1,821	684
その他	9	2	その他	1	4
無形固定資産	551	1,553	負債合計	30,653	29,185
ソフトウェア	550	1,551	純資産の部		
その他	1	2	株 主 資 本	12,034	13,098
投資その他の資産	6,177	4,119	資本金	100	100
長期貸付金	1,100	700	資本剰余金	2,078	2,078
長期前払費用	37	22	資本準備金	25	25
繰延税金資産	4,606	2,964	その他資本剰余金	2,053	2,053
その他	433	433	利益剰余金	9,855	10,919
			その他利益剰余金	9,855	10,919
			繰越利益剰余金	9,855	10,919
			評価・換算差額等	△67	1,922
			繰延ヘッジ損益	△67	1,922
			純 資 産 合 計	11,967	15,021
資産合計	42,620	44,206	負債純資産合計	42,620	44,206

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額			
	2025年3月期		2026年3月期	
営業収入		53,270		53,471
事業費		45,566		47,245
営業総利益		7,704		6,226
販売費及び一般管理費		4,400		4,225
営業利益		3,303		2,001
営業外収益				
受取利息	78		65	
受取助成金	12		29	
受取手数料	60		70	
為替差益	—		29	
その他	30	182	30	224
営業外費用				
支払利息	280		343	
為替差損	3		—	
シンジケートローン手数料	16		72	
その他	18	319	14	429
経常利益		3,167		1,796
特別利益				
固定資産売却益	196		0	
リース解約益	212	409	—	0
特別損失				
固定資産除却損	6	6	6	6
税引前当期純利益		3,569		1,789
法人税、住民税及び事業税	18		18	
法人税等調整額	1,134	1,152	567	586
当期純利益		2,416		1,203